



## すべての仲間の賃上げめざし地域共闘を！

### 目黒労協委員会 & めぐる労働講座を開催

2月13日(木)、下目黒住区センターで第72回目黒労協委員会と、めぐる労働講座が開催され、30名の組合員らが参加し、25春闘方針を確認しました。労協議長は、「25春闘は全ての働く者の賃上げを。最低賃金の大幅引上げにとりくもう！」とあいさつ。労働講座では、企業移転への対応・人事制度改変問題などを学習しました。

#### 春闘方針提案(要旨) 労協事務局長より

- ・日本の経済は内需が基本、内需をどう高めるかが重要。減税は時間もかかる、経済再生には賃金アップが有効。
- ・東京は家賃上がっており、賃金の可処分所得上がらない→消費を抑えることになる。
- ・最低賃金大幅引上げが必要。同時に最低賃金適応除外、例えば障がい者就労などの見直しも必要。
- ・労働時間規制適応除外で副業推奨など 労働時間規制の範囲外になっている問題あり。
- ・労働法制改悪の動きも。「年俸制で交通費含む」、通勤手当に課税など。消費税も払っており、二重課税となる。
- ・今年は都議選・参院選もある。目黒労協は国民救援会に協力し、「選挙に行こう！」や民間パトロールに取り組む。

#### 労働講座 渋谷法律事務所＊米倉弁護士:2つのテーマで講演

①人事制度 制度そのものの問題と、実際に適用され運用される際の問題の二つの側面があるが、後者のための指針としても制度検討が重要である。

・「賞与の評価割合の拡大」は、頑張ってもらいたいという、いわば「飴と鞭」、賞与はそもそも賃金の後払いで、賃金額は労働契約の最も重要なもの。増額ならともかく減額するのはいかがなものか。

・「労働条件」は労働契約法に明記されている(労働契約法 3条)。労使が対等の立場に立ち、合意による取り決め、合意がなされた場合のみ変更できる。

・「降格制度」は、役職者のみならず一般労働者にも適応させるのか。終身雇用のもとに円滑な運用を想定しており、昇格はあっても降格は想定されていない。心身の故障により正常な勤務ができないという場合、降格より休養では。

②移転問題 本社移転などの大きな移転の場合、配置転換といっても一般的な配転とは違う。単なる勤務地移転だと、業務内容は変わらないかもしれない。

・労働者が受ける不利益は、労働条件不利益変更にあたり、何らかの是正措置(金銭ほか)が求められる。

・家族の就労・介護・通学等の条件も検討必要。「仕事と生活の調和」の観点が必要である。

25春闘方針を提案後、拍手で確認・採択されました。副議長による閉会挨拶後、団結頑張ろう！で25春闘へスタートです。



# 25春闘 東京・目黒で地域の取組み！

## 2025 目黒労協春闘宣伝 第2弾

2月17日(月)の夕方、学芸大学駅前で「目黒労協 2025 春闘・第2回宣伝」を実施、組合員17名の参加で、340枚のチラシ入りティッシュを配布しました。目黒労協も2月13日の第72回委員会で、2025春闘方針を決定し、最初の取組みとなりました。

3月並みの昼間の気温から、夕方になるとかなり気温が下がった冷たい中、人数が多いので学芸大学駅の東口・西口の両方でティッシュ配布ができました。寒い時期の宣伝

としてはなかなか受け取りも良く、用意したティッシュが30分くらいで無くなりました。マスコミなどでも「春闘交渉が開始」など報じられており、区民の方の関心も高まっているのかもしれませんが。

(JMITU 目黒地域/通信員)



## 春闘共闘・25春闘勝利総決起集会に650人が結集

1月30日(木)中野ゼロ大ホールにて、国民春闘・東京春闘共闘会議「2025年国民春闘勝利！総決起集会」が行われ、650人の組合員が参加しました。



矢吹東京春闘共闘代表から主催者挨拶。ついで全労連・黒沢事務局長から、25春闘「すべての労働者の賃上げを」と基調報告。7割の中小企業労働者、半数に近づく非正規労働者、初任給は上がっても全く賃上げにならない中高年労働者、男女賃金格差の情勢を打ち破ろうと。最低賃金について、秋田・岩手両県知事の「最下位争いをやめ、全国一律最低賃金を」との発言を引いて、全国一律直ちに1500円最低賃金の

課題を報告しました。後半は各単産・職場からの決意表明です。

- ・公務共闘は全教から。教師の残業代0の特給法：わずか1%引上げでなく、長時間労働の改善を、と訴え。自らもフリーランスで「原稿1本2万円」といった働き方をしている出版ネット委員長が、「すべての働く者の賃上げを」と。
- ・東京医労連からは、5万円以上のベア・賃上げ、増員を求めて闘う決意表明が。
- ・西部春闘共闘会議から、世田谷区・新宿区の公契約条例の労働報酬下限額が、1460円・1438円に、最賃1500円は目前、「めざせ時給2000円」の横断幕も。
- ・全労連女性部、東京地評女性センターも、男女差別をなくせ！と決意
- ・最後は東京土建労働組合。目黒支部含め各支部の旗が約20本ならび、数十名の組合員で最後は団結ガンパロー！



■なおこの集会には、目黒から東京土建目黒支部、目黒区職労、JMITU 目黒地域支部、めぐろユニオンなど17人の組合員が参加しました。(目黒労協/事務局)

# 憲法を守り、平和と社会保障の充実を！ めぐろ区民集会 2025 & パレード



2月22日(土)午後、目黒社保協などによるめぐろ区民集会が目黒区民センター中小企業センターにて開催されました。目黒労協も25春闘の決起集会、宣伝行動として取り組み、組合旗持参で集合。オープニングの南部合唱団演奏に続き、3時まで現役訪問ヘルパー・藤原るかさんの「介護の実態と介護保険の問題点」講演。約100人の参加で会場は満員となりました。

その後、山手通り～目黒通り、目黒駅西口～三田公園まで約1時間のパレードを行い、4時過ぎに散会しました(\*講演記録、写真など、目黒労協ホームページに収録しました)。

「春闘決起集会」として“全力”参加した加盟労組は、土建目黒支部、目黒区職労、JMITU 目黒地域支部、めぐろユニオン、東工大職組など。(目黒労協/事務局)



## トヨタ・大企業は利益を労働者と下請けにまわせ

### 「第46回トヨタ総行動」に参加しました

2月11日(火)、愛知県名古屋での第46回トヨタ総行動・25国民春闘勝利決起集会に、大気汚染公害責任裁定団の一員として初めて参加しました。この日は早朝に東京から名古屋に移動し、午前10時より名古屋

駅前前のトヨタが入るビルの前で、愛労連の人たちと一緒に宣伝行動。お昼前に駅近くの公園に移動し、「2025国民春闘勝利決起集会」に合流しました。トヨタ総行動実行委員会・全労連・愛労連・愛知国民春闘共闘委員会の主催で、朝宣伝から延べ590人が参加と、報告がありました。集会は、参加者が主役の運営が工夫されており、なかなか元気が出る集会でした。終了後のデモ行進は名古屋駅の周りを1周しましたが、少々疲れる距離でした。東京以外でもみんな頑張っているな、と感ずることができた行動でした。(JMITU 目黒地域支部/通信員)



## ローカルビッグアクション(第1次最賃デー)新宿\*西部地域



2月1日(土)新宿アルタ前の最賃ローカルビッグアクション。西部地域主催で世田谷・新宿・中野・杉並地域と挨拶続く。公契約「労働報酬下限額」がもう少しで時給1500円、最低賃金引き上げ、1人でも入る地域個人加盟労働組合に入ろうと訴えが続きました。目黒でも頑張るぞ！(めぐろユニオン/通信員)

## 共闘団体の新年会に参加しました

### 年金者組合目黒支部 みんなで食べて歌う「新春のつどい」

2月9日(日)八雲住区センターで行われた年金者組合の「新春のつどい」は、40名を超える参加者でした。この組合の特徴は、「何でも自分たちで準備」です。午後1時半の開会に合わせ、午前中から調理室で「おでん」や「お汁粉」づくり、料理のほとんどが手作りです。またアトラクションも組合内「歌う会」の発表や、踊りにハーモニカ演奏など、全て組合員さんが主人公です。食べて歌うことが中心でもあり、アルコールは控えめですが、参加者は十分に楽しめる内容でした。

(年金者組合目黒支部/組合員)



### 国民救援会目黒支部 2025年新年会



2月1日(土)、東京土建目黒会館で救援会目黒支部の新年会が行われ、29名の方々が参加されました。目黒労協よりも事務局長が来賓参加し、連帯のあいさつを行いました。新年会にはえん罪事件の裁判の支援者、えん罪事件の再審を求め取り組む支援の人たちも参加され、事件の早期解決を求め支援の訴えがなされました。労協事務局長は、「選挙時の民間パトロールなど、今年も労協として取組みの協力を行いたい」とあいさつしました。会の後半では南部合唱団も加わり、「ミニ歌ごえ」も行われ、なかなか楽しい新年会でした。(救援会担当の労協執行委員)

## 年末連帯カンパへのご協力、ありがとうございました！

昨年末にて取り組みました『健康問題の点検の意味を兼ね、また労働者の連帯の意思を再確認するための、争議支援・職業病・長期闘病組合員・事件関係者激励の年末連帯カンパ』に、合計77,691円のご協力をいただきました。ご協力いただいた組合・組合員の皆様、大変ありがとうございました。いただいたカンパは、5名の長期闘病組合員、および東京争議団・明乳争議団・国民救援会にお渡ししましたので、報告致します。多くの皆様のご協力、大変ありがとうございました。